

報告

第40回国際福祉機器展 (H. C. R. 2013)

横浜市総合リハビリテーションセンター 西村 顕

1. H.C.R. 2013 の概要

2013年9月18日(水)から3日間、東京ビッグサイトで第40回国際福祉機器展(H.C.R. 2013)が開催されました(図1)。主催者の一般財団法人保健福祉広報協会によると、参加者は3日間で12万1,044人、出展社は585社・団体であり、昨年よりも参加者および出展社は増えていくとのこと。今年で40周年を迎え、H.C.R.の歴史を振り返るパネル展や、国が新産業として推進する「介護ロボット」の企画展示もあり、会場は大勢の人で賑わっていました。



図1 H.C.R. 2013 会場入口

2. 特別企画「子ども広場」

H.C.R. 2013では、福祉機器の展示の他に国際シンポジウムやセミナー等も開催されます。横浜市総合リハビリテーションセンターでは、H.C.R.の主催者より委託を受け、特別企画「障害児のための『子ども広場』」ブースを運営しました。特別企画は、この他に「はじめての福祉機器選び方・使い方セミナー」「福祉機器開発最前線」「料理講座『高齢者むけの手軽な日々の食事』」「ふくしの相談コーナー」「高齢者の生活支援コーナー」が同時に開催されています。本稿では当センターが担当した「子ども広場」を中心にご紹介します。

当センターでは、約10年前より「子ども広場」の運営を委託され、子どもの福祉機器や療育の相談を中心におこなってきました。そして2013年からは子どもの福祉機器を実際に体験できるブースをつくり、体験しながら様々な福祉機器の相談ができる内容に変更

しました。そもそもH.C.R.は企業が中心になり福祉機器を展示しているため、子どもの福祉機器だけを広い会場の中から探すのは大変困難でした。そのような来場者の声に応えるため、今回はニーズの高い入浴用の福祉機器を対象を絞り、出展企業に協力を依頼し、子ども用の福祉機器を子ども広場に集約させることができました。この子ども広場の体験コーナーの名前は、「親子で楽チン! ワクワク! 入浴グッズ体験コーナー」と名づけて、より身近に福祉機器を感じてもらえるように企画しました。展示内容は、入浴用リフトが4台、各種吊り具、子ども用のバスチェアを8台展示して、自由に体験や見学ができるようにしました(図2)。



図2 入浴グッズ体験コーナー

3. 来場者の声

子ども広場には、3日間で約1,500名の来場があり、実際に障害のあるお子さんやそのご家族の参加が多かったことに大変驚きました。来場者の中には、「特別支援学校の作業療法士さんから薦められ、まずこのコーナーに立ち寄りました」「用具を同時に比べながら体験できるのでとても参考になる」「リフトの種類がこんなにあるとは思わなかった」など多くのご意見をいただきました。

4. おわりに

次回のH.C.R.は、2014年10月1日(水)から3日間の開催です。子ども広場では、「子ども用の車椅子の適合」を中心に体験展示を予定しています。ぜひお立ち寄りください。今回よりもパワーアップして来場者の皆様楽しんでもらえるような企画を考えていきたいと思ひます。

横浜市総合リハビリテーションセンター
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1770